

気象事業整備拡充請願 衆議院で保留 参議院では委員会開会されず

気象事業整備拡充署名の取り扱いは、国会会期末を迎えた昨日16日、衆議院では本会議後に自民・公明両党が欠席するなか、国土交通委員会理事懇談会が開催され、共産・社民・国民新党が採択を主張しましたが、民主党が「党内の不一致」を理由に採択を保留し、委員会での採択には付されず、保留（不採択）となりました。

一方、参議院では本会議の開会をめぐり民主党は議事運営委員会理事会で、障害者自立支援法改定案など4法案の本会議採決を条件に、自民党などが提出した菅首相と新井国家戦略担当大臣の問責決議案、江田議長の不信任決議案を議題とすると一方的に通告。野党がこれへの対応の協議を続けていたにもかかわらず、民主党は不当にも議事運営委員会理事会での協議を一方的に打ち切り、本会議の開会を取りやめとなりました。この結果、すべての委員会が開催できずに、参議院においてはすべての請願が審議未了（不採択）となりました。

この間、全国で奮闘された組合員みなさんに敬意を表するとともに、引き続きとりくみへの結集を訴えます。